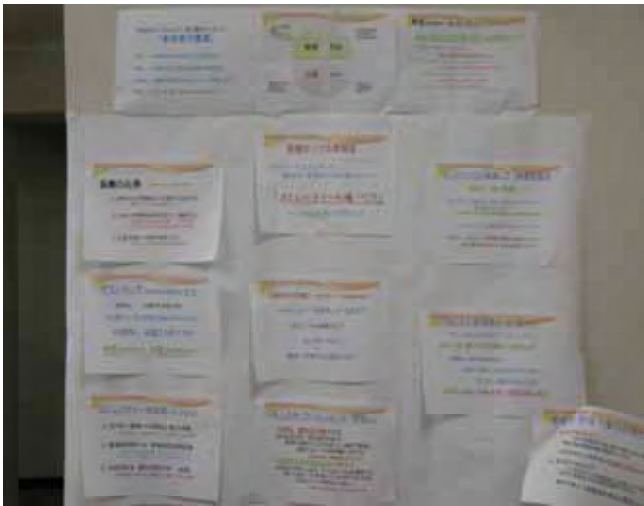


# 第4回 まちづくり ワークショップ

日時:平成19年12月21日 場所:堺市都市整備公社4階会議室

# ひとりから はじまるまちづくり

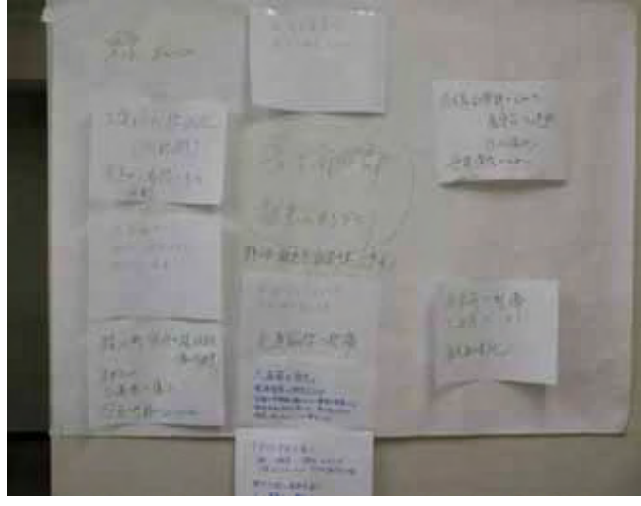
# 私たちが参加し、行動に移せる まちづくりを探る



(赤組)  
市民が、主人公となって、地域で多様な人たちが集える。向こう三軒両隣を基盤に「コミュニティの場づくり」をまちづくりのテーマとしてまとめていきたい。



(青組)  
三現主義(現場・現物・現実)に沿って、北野田界隈を再確認・再発見した。新旧の連携・融合、相乗効果を検討するため、その町の歴史を知ることであり、今後も知り合った仲間を大切に、続けていく。



(緑組)  
大道筋の緑化、阪堺線停留所付近の動線の案内、市外に対する人の案内などが不足。資源の活用を推進。都心部の観光やまちづくりについて、考えたい。



(黄組)  
夜の堺東は、街灯の背が高く、暗い。ナンテン電車の活用が必要。観光に対して、御陵案内の看板不足。PR方法を検討。リビーターの確保など、堺の観光政策について考えたい。

各班のまち歩きや長浜市の見学会について、気付いたことや、参考になった点などを話し合い、私たちの町との違いや参考になることを出し合いました。他の町と比較したり、改めて堺の町を歩くと、課題・問題点が多く抽出され、今後追求めていきたいとの意見もありました。また、仲間づくりを大切に、今後も交流を深めていきたいとの意見もありました。



コーディネーター：加我 宏之さん  
大阪府立大学大学院生命環境科学研究科助教

- ・まち歩きなどで、気付いた良い点、悪い点などは、「『何故』(良い、悪い)」ということを考えていかなければならない。また、誰が支えているか、誰がそうしているのか、なども考えなければならない。
- ・まちを変えていくなかでは、人づくり=意識を変える、計画づくり=目標づくり、組織づくり(行政、行政と市民、市民と市民などの役割分担)が必要であり、その点を考えましょう。
- ・「堺のPRが不足」と聞いて、どきっとした。市民一人ひとりが「堺出身」ということも堺を知ってもらうきっかけ。市民の目で作るしがらみのないマップづくり、情報誌づくりができればよい。
- ・あいさつなど、日常生活で見守れる環境をつくろう。
- ・このワークショップで集まったことで、情報交流が図れ、意識改革に繋がっていくだろう。

## プログラム

18:30  
開会  
今日のスケジュールと進め方  
講義 加我先生  
まちづくりのアイデアの出し方のポイントについて  
18:45  
ワークショップ  
現地調査の結果を話し合い、それぞれの町の良いところ、問題点、課題などを抽出し、私たちの町と比較してどこが違うか、どのような点を参考にしていけばいいかなど話し合う。  
(現地調査:各班の現地調査+長浜見学会)  
まちづくりのアイデアを出し合い、話し合おう。  
20:10  
発表 各班5分程度  
20:30  
講評 加我先生  
20:45  
次回のお知らせ  
閉会

## 参加者の声

- ・各班の発表を聞いて、いろいろな町を見ることができた。
- ・初めて参加された方がうまく発表されていた。交流を深めていきたい。
- ・堺の町が他の町に比較して自慢できる点が少ないことを感じた。
- ・堺の持つ歴史と文化をよく知って魅力あるまちづくりに生かす方法を考えてみたい。
- ・今回のワークショップの目的「私たちが参加し、行動に移せるまちづくりを探る」をもっと少し明確に伝えてほしい。
- ・各班とも、まちの監察に対して個性があり、まとめ方、発表方法にも個性が生かされている。

